

地区名 由利本荘市・にかほ市

所在地 由利本荘市土谷

バス駐車 ○ 大地のつくり

トイレ × **水のはたらき**

露頭までの道のり

由利本荘市の県立大学脇の道を高速道路に向かって進み、大きく左に曲がる地点が観察場所となる。

安全上の留意点

ゴミ収集車が頻繁に通行することもあり、交通事故には十分注意する。観察場所は広く、死角になるところもあるので観察範囲を指定するなど、児童の動きを掌握する配慮が必要である。

観察のポイント

- ①厚く砂の層だけが堆積していること。
- ②粒が細かな砂の手触りを感じる。
- ③角ばった火山岩がないこと。
- ④地層の広がりを感じる。

地質年代

新第三紀鮮新世後期(約200万年前頃)

解説

笹岡層と見られ、砂岩やシルト岩の層が広がっている。露頭のどこを見ても砂の層しかないので「水のはたらき」でできた大地であることを判断できる。また、この露頭から左奥に入った道沿いには同一の地層がつながって露出しており、地層は表面だけではなく奥にも続いていることを視覚的に理解しやすくなっている。化石はほとんど見つけることができなかった。

道路から露頭に向かう入り口には、建築廃材とみられる瓦や円礫があるが、これは地層と関係がないことをおさえる必要がある。

(筆者独自調査)

露頭概観

指導形式

B



露頭概観の写真を撮った場所から左には林に向かう林道がある。この右側にはずっと続いて砂の層が見られる。



観察のしやすい高さに地層が露出している。やわらかい層だからといって、むやみに崩したり掘ったりしないことが観察させたい。



手にとってみると、粒の細かな粒子でできていることが分かる。水を含むと泥のようにふるまうが、顕微鏡でみると1/16mm以上の大きさなので砂である。